

専 門 教 養
令和元年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
特別支援学校中学部 技 術

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 問題の音読等、他の受験者の迷惑になるような行為、携帯電話の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、18ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 1 ~ 4、**特別支援教育の専門に関する問題** I ~ IV の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年又は平成30年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

===== 解答上の注意 =====

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つのみの場合とがあります。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例1）

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。

3 問題文中の 、 などの には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) 、、、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを 、、、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="2"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="3"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="4"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に 、 などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、、 のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\text{56}}{\text{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="5"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="6"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="7"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は 、、。」と表示のある問に対して、2と5と8と解答する場合には、次の(例4)のように「②、⑤、⑧」の順にマークします。

このとき、「②、⑤、⑧」以外の「⑤、②、⑧」や「⑧、②、⑤」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="11"/>	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="12"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="13"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

教科等に関する問題

1 材料と加工に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 木材に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 丸太を輪切りにした断面に見られる同心円状の層は年輪と呼ばれ、熱帯産の木材は年輪が不明瞭なものが多い。
- 2 早材は夏から秋にかけて成長した部分で比較的颜色が薄く、晩材は春から夏にかけて成長した部分で比較的颜色が濃い。
- 3 丸太の中心部は心材と呼ばれスギやケヤキでは比較的颜色が薄く、丸太の外周部は辺材と呼ばれスギやケヤキでは比較的颜色が濃い。
- 4 板目木取りした板材の丸太の髓の側に向いた面は木表、外周側に向いた面は木裏、幹軸に直角な断面は木口と呼ばれる。

[問 2] 金属材料に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 炭素工具鋼は鉄に炭素を 6～15%含む炭素鋼である。炭素の量により、硬さと耐摩耗性が変わる。
- 2 ステンレス鋼は鋼にクロムを添加した合金鋼である。ニッケルを添加すると、耐酸性が増す。
- 3 黄銅は銅とスズの合金である。7：3黄銅、6：4黄銅などがあり、引張強さや伸びなどの機械的性質及び耐食性がよい。
- 4 白銅はニッケルに銅を10～30%含んだ合金である。加工性、耐食性がよく、高温でも強度の低下が小さい。

[問 3] 金属加工に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

。

- 1 塑性加工は、金属に力がかかっても、その力を除いたら元の形状に戻る性質を利用したものである。具体的な方法として、圧延加工、押出し加工等がある。
- 2 鍛造は、結晶を微細化させながら金属組織を強くするものである。具体的な方法として、熱間鍛造、冷間鍛造等がある。
- 3 鑄造は、金属を溶かして型に流し込んで冷却、凝固させ目的の形にするものである。具体的な方法として、焼入れ、焼なまし等がある。
- 4 切削加工は、金属を刃物等で削って形にするものである。具体的な方法として、シェルモールド法、ロストワックス法等がある。

[問 4] 接着剤に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

。

- 1 エポキシ樹脂系接着剤は、代表的なエポキシ・ポリアミドのように1液形が多い。主に金属、プラスチックの接着に使用する。
- 2 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤は、酢酸ビニルモノマーを水中で乳化重合して得られる茶褐色の液状である。金属に対して優れた接着性を示す。
- 3 ユリア樹脂系接着剤は、主要成分は尿素とホルムアルデヒドとの初期縮合物である。常温接着用のものと加熱接着用のものがあり、硬化した樹脂は無色透明に近い。
- 4 シアノアクリレート系接着剤は、2-シアノアクリル酸エステルを主成分とする。接着には長時間を要し常温で硬化する。2液形のものが多い。

2

生物育成に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次のア～エは、それぞれある作物に関する記述である。ア～エと、作物との組合せとして最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか。解答番号は **5**。

ア ヒルガオ科で、温暖な気候を好む。たねいもからほう芽・成長した茎を採苗し、畑に植え付ける。窒素肥料が過剰だとつるぼけを起こすことがある。主な生産地は鹿児島県、茨城県、千葉県、宮崎県である。

イ バラ科で、栽培の歴史は古い。果面にコルク層が発達せず黄緑色になる青ナシと、コルク層をつくりさび褐色になる赤ナシに分類される。北海道南部から九州まで広く栽培されている。

ウ ウコギ科で、軟化栽培では、まず耕土を深くして根株を育ててから掘り起こし、伏せ込み床に並べて土を詰める。かん水後、土の表面が乾いたら、軟化資材を入れて白く軟化した茎の部分食用とする。北海道から沖縄県に至るまで広く作付けされている。

エ アブラナ科の葉菜類で、年間を通じて栽培できる。ナノアオムシ等の虫害を防ぐために防虫ネットを張って栽培する。保存期間が短いため、都市近郊で栽培されることが多い。主な生産地は茨城県、埼玉県、福岡県、東京都である。

- | | | | | |
|---|----------------|-----------------|-------------|-----------------|
| 1 | ア サツマイモ | イ ニホンナシ | ウ ネギ | エ ホウレンソウ |
| 2 | ア ジャガイモ | イ セイヨウナシ | ウ ネギ | エ コマツナ |
| 3 | ア サツマイモ | イ ニホンナシ | ウ ウド | エ コマツナ |
| 4 | ア ジャガイモ | イ セイヨウナシ | ウ ウド | エ ホウレンソウ |

[問 2] トマトの特徴に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 ウリ科の作物で、移植を嫌うため、圃場に直接種を播き、間引きながら育てる。前作は同じ科であるヘチマやスイカがよい。
- 2 ウリ科の作物で、高温を好み強い光を必要とする。本葉が 4～5 枚で定植する。一本仕立ては子づるを早めに除去し誘引を行う。
- 3 ナス科の一年草で、トウガラシの一品種である。生育には 25～30℃の高温を必要とする。連作障害を起こすので同じナス科との連作は避ける。
- 4 ナス科の一年草だが、成長体が一定の大きさになると花芽分化を行い、栄養成長と生殖成長が並行しながら生育を続ける。両性花で自家受粉する。

[問 3] 次の記述ア～ウのうち、花きの栽培に関するものとして適切なものには①を、適切でないものには⊖をそれぞれマークせよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 。

- ア チューリップの促成栽培では、球根を夏場に 30℃以上で貯蔵した後、9 月頃に -10℃で一週間凍結させることで休眠打破をする必要がある。
- イ 植物が低温により花成が誘導されることを利用して、人為的に低温で処理した直後に、30℃程度の高温に合わせ開花を促すことを春化という。
- ウ キクは短日植物であり、連続した暗期が 13 時間を越えると花成が起こるので、1 日に 16 時間の暗期を設定しても、8 時間経過後に短時間の光を当てると花成は起こらない。

3 エネルギー変換に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の歯車ア～エに関する記述として最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

- ア 平歯車
- イ はすば歯車
- ウ ねじ歯車
- エ すぐばかさ歯車

- 1 二つの軸が食い違っていて、平行でなく交わりもしない歯車である。
- 2 二つの軸が平行で、歯すじがつるまき線である円筒歯車である。
- 3 歯すじがピッチ円すいの母線と一致するような円すい形の歯車である。
- 4 歯すじが軸に平行な直線である円筒歯車である。

[問 2] 次の記述ア～ウのうち、蛍光ランプに関するものとして適切なものには①を、適切でないものには②をそれぞれマークせよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 。

- ア 蛍光ランプには、ガラス管の両端にフィラメント電極があり、管内には放電しやすくするために窒素が封入されている。
- イ 蛍光ランプは、電流が流れてフィラメントが熱せられると熱電子が飛び出し、電極間を移動し始めることで放電が始まる。
- ウ 蛍光ランプの電極間を移動している熱電子が、管内のアルゴンガスに衝突して紫外線を発生させ、管内壁に塗ってある蛍光物質を発光させる。

4 情報に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の文章は、あるコンピュータの記憶装置を表したものである。この文章が表す記憶装置の略語として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **17**。

コンピュータが処理を行ったり、画面上にデータを表示したりするときに使う作業用のメインメモリである。データを頻繁に書き換えることができるが、電源が切れると作業に使っていたデータは消えてしまう一時的な記憶域である。

- 1 S S D
- 2 D R A M
- 3 P R O M
- 4 H D D

[問 2] ファイアウォールに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **18**。

- 1 コンピュータで作業しているときに一定の時間ごと、若しくは指定したデータの量に達すると自動的にそのデータをファイルとして保存する機能がある。
- 2 コンピュータ内のウイルスやワームを検出するために自動的に定義データを更新し、検出した際には駆除を行う機能がある。
- 3 インターネットに接続したコンピュータやネットワークに対する外部からの不正アクセスを阻止する機能がある。
- 4 コンピュータからデータを送信する際に、情報を意味の分からない形に変換し、情報を伝える相手に復号する鍵を渡して元の情報に復元する機能がある。

[問 3] 次の図は、商品管理を行うための J A N方式のバーコードである。図中のアの位置に記録される情報に関する説明として適切なものは、下の 1 ~ 4 のうちのどれか。解答番号は 19 。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 商品の販売価格を各店舗で自由に設定できるように、商品の流通コード番号と価格を連動させるために用いる。
- 2 スーパーマーケットの加工センターや各店舗でのパック詰めを行った際に、店舗独自の商品管理を行うために用いる。
- 3 定められた試算式により算出される数値と照合することで、バーコードの読み取り入力が適正であるかどうかを判断するために用いる。
- 4 13桁の数値をバーコードで読み取る際に、最右端の数値が入力されることで、読み取りデータが終了していることを確認するために用いる。

特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述ア～エのうち、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月1日施行)に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

ア この法律は、障害者基本法の基本的な理念にのっとり、障害を理由とする差別の解消を推進し、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的としている。

イ 障害者とは、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害がある者であって、その障害に起因する困難により、継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある者であり、社会的障壁を含まないものをいう。

ウ 行政機関等及び事業者は、社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、施設の構造の改善及び設備の整備に努めるよう規定されているが、職員に対する研修は規定されていない。

エ 行政機関等及び事業者は、その事務又は事業を行うに当たり、障害を理由として障害者でない者と不当な差別的取扱いをすることにより、障害者の権利利益を侵害してはならないとされている。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 学校教育における合理的配慮に関する記述ア～エのうち、「特別支援教育の在り方に関する特別委員会報告1」（中央教育審議会初等中等教育分科会 平成24年7月13日）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

ア 合理的配慮とは、障害のある子供が、他の子供と平等に教育を受ける権利を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないものである。

イ 障害のある子供に対する支援については、法令に基づき又は財政措置により、国、都道府県及び市町村は、教育環境の整備をそれぞれ行う。これらの合理的配慮の基礎となる「基礎的環境整備」を基に、学校の設置者及び学校は、各学校において、障害のある子供に対し、法令に基づいて一律の環境整備を行う。

ウ 合理的配慮は、一人一人の障害による困難を軽減するために提供されるものであるため、学校の設置者及び学校は、合理的配慮の観点を踏まえ、本人と保護者の意向を聞き取る前に、提供可能な合理的配慮を考えて提供することが求められ、その内容を個別の教育支援計画に明記する。

エ 合理的配慮は、その障害のある子供が十分な教育が受けられるために提供できているかという観点から評価することが重要であり、それについても研究していくことが重要である。例えば、個別の教育支援計画、個別の指導計画について、各学校において計画に基づき実行した結果を評価して定期的に見直すなど、PDCAサイクルを確立させていくことが重要である。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 特別支援教育に係る教育課程についての記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の 1～6 のうちではどれか。解答番号は 22。

ア 特別支援学級において特別の教育課程を編成する場合、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領に示す自立活動を取り入れることとする。

イ 特別支援学級においては、特に必要がある場合は、特別の教育課程を編成することができるため、指導する内容は、指導に当たる教員の裁量によって特別に決めて指導することができる。

ウ 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部の教育課程は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動によって編成する。

エ 特別支援学校の小学部において、知的障害者である児童を教育する場合、特に必要のあるときは、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

Ⅱ 学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」の「教育課程の編成における共通の事項」に関する記述ア～エのうち、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 。

ア 道徳教育の内容は、小学部においては、小学校学習指導要領第 3 章「特別の教科道徳」に示す内容に準じる必要はない。

イ 各教科の指導に当たっては、学級経営計画の内容を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。

ウ 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部における外国語活動については、児童や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

エ 学年の内容を 2 学年まとめて示した教科及び外国語活動の内容は、2 学年間かけて指導する事項を示したものである。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 次の記述ア～エのうち、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の「総則」の「教育課程の実施と学習評価」の「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に示されているものとして適切なものには○を、適切でないものには×をそれぞれマークせよ。

解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

ア 各学校において必要な言語環境を整えるとともに、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、児童又は生徒の言語活動を充実すること。

イ 地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。

ウ 各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるよう工夫すること。

エ 各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること。

Ⅲ 次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは、知的障害特別支援学校中学部に在籍する自閉症のある生徒である。

生徒Aの様子

- ・ 聴覚から情報を捉えることは苦手であるものの、視覚からの情報を理解することが得意である。
- ・ 他者の様子に関心があり、進んでコミュニケーションを取ろうとする。
- ・ 気持ちが落ち着かなくなったときに、自らの行動を抑制することが難しく、他者に対して荒々しい行動に及んでしまうことがある。
- ・ 困ったことに直面したときに、他者に援助を求める方法が身に付いていない。
- ・ 険しい表情や口調で話してしまうことが多く、相手に動揺を与えてしまうことがある。
- ・ 感情などを言葉にして話すことが難しく、相手に意思が伝わらないことが多い。
- ・ 一方的に話してしまうことが多く、相手の話を聞くのが苦手なため、会話が成立しにくい。

(「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)(平成30年3月)」から作成)

[問 1] 下線部に関連して、自閉症のある児童・生徒の障害の特性を踏まえた指導に関する記述として**適切でないもの**は、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 他者との関わりをもとうとするが、その方法が十分に身に付いていない児童・生徒に対して、はじめから多くの教師と様々なやりとりを経験するようにする。
- 2 言葉でのコミュニケーションが困難な児童・生徒に対して、話し言葉を補うためにタブレット型端末等を活用して要求を伝えられるようにする。
- 3 音に過敏に反応する児童・生徒に対して、苦手な音がして落ち着かなくなりそうなときにイヤーマフを自分で着用して音量を調節できるようにする。
- 4 身体を前後に動かして自己刺激を過剰に得ようとしている児童・生徒に対して、ブランコ遊びなどの他の適切な活動に置き換えて、同じような感覚を得られるようにする。

[問 2] 次の記述**ア**～**エ**のうち、自閉症のある児童・生徒の障害の特性や「生徒Aの様子」を踏まえた生徒Aへの指導として正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

ア 他者に対して荒々しい行動をしてしまったときに、落ち着くことのできる小部屋を用意し、慣れた別の活動に取り組み、気持ちを落ち着かせるようにする。

イ 相手の立場に合わせた言葉遣いや場に応じた声の大きさなどを、実際の生活場面とは切り離し、プリントを使って指導を行う。

ウ 絵カードを使って表情から相手の意図を推測する学習を行い、周囲の状況や他者の感情に配慮した伝え方ができるようにする。

エ 「もうちょっと優しい言い方なら大丈夫だよ」と、意味内容に幅のある表現を用いて状況に応じた話し方を口頭で伝える。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 「生徒Aの様子」を踏まえ、個別指導計画の自立活動の目標を「一方的に話すことを調整しながら、伝えたいことを整理して話す」と設定した。この目標を達成するための具体的な指導内容として、次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

ア 相手に伝えなければならない事柄を、いつ、どこで、どうしたいかなどの項目を示した資料を見ながら順番に話す機会を設定する。

イ 予定されているスケジュールや予想される事態や状況を伝えたり、事前に体験できる機会を設定したりすることで見通しをもてるようにする。

ウ 日常の会話の様子を動画で撮影し、省みるようにすることで、相手の話を聞きながら話したり、穏やかな口調や表情で相手に接したりするよう意識させる。

エ 話し言葉ではなく、メモ帳やタブレット型端末等を活用して、文字のみで自分の話したいことを相手に伝えるようにする。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

IV 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述**ア**～**エ**は、視覚障害者である児童・生徒の視覚障害の状態に関するものである。正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は **31** 。

- ア** 視覚障害とは、視機能の永続的な低下により、学習や生活に支障がある状態をいう。片眼だけ視機能の低下がみられる場合も、遠近感覚がないなどの不自由があるため、視覚障害である。
- イ** 視力測定はランドルト環を視標とした万国式試視力表を用いる。0.1の視標が5 mの距離から正解できない場合は、それよりも近い距離で測定する。例えば、1 mの距離で0.1の視標が正解できた場合の視力は、0.02である。
- ウ** 最小可読視標とは、遠見視力表を用い、一番見やすい距離まで目を近づけてどこまで視標を読み取ることができるかで表す。例えば、「最小可読視標：0.3/5 cm」は、5 cmまで近づければ、0.3の視標が読み取れることである。
- エ** 0.01より低い視力は数値で表せないが、明暗も分からない状態を「光覚なし」、明るい暗いかが分かる状態を「光覚（弁）」、眼前で動かした手の動きが分かる状態を「手動（弁）」、眼前の指の数が分かる状態を「指数（弁）」という。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 聴覚障害者である児童・生徒に対する指導上の配慮事項に関する記述ア～エのうち、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

ア 言葉の意味を理解したり、それによつて的確な言語概念を形成したり、その指導の過程において言語による思考力を高めたりするためには、具体的経験をいかに言葉で表現し理解できるようにするかが極めて大切なことである。

イ 読書の指導に当たっては、児童・生徒がどのような読み方をしているか、果たして読んでいる内容が理解されているかなどの観点から質問などをすることは、児童・生徒の意欲をそぐことになるため、避けなければならない。

ウ 各教科の指導においては、話し合い活動を中心に授業が展開され、そのことを通して、学習内容の理解が図られることから、意思の相互伝達が円滑かつ的確に行われ、それが全体として一層活発化されることが特に望まれる。

エ 児童・生徒が「分かる」ことに支えられて、主体的に学習が進められるよう発展的・応用的な事項に重点を置いたり、興味・関心のある事項を優先的に取り上げたりするなど、工夫して指導するよう努めることが大切である。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 肢体不自由特別支援学校における自立活動の指導に関する記述として最も適切なものは、次の1～5のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 自立活動の指導を行うためには、特別支援学校自立活動教諭の教員免許状を所有していることが必要である。
- 2 学級担任の教員は、自立活動の指導は自立活動の担当者に全てを任せて、教科等の指導に専念すればよい。
- 3 自立活動の指導は、自立活動の時間を設けてその時間だけ行えばよく、教科等の指導では自立活動の指導を行う必要はない。
- 4 自立活動の指導は、指導目標を数値化してその達成状況に応じて観点別評価を行い、数値による評定を行う。
- 5 障害の状態により、必要に応じて専門の医師やその他の専門家の指導・助言を求めて適切な指導を行う。

[問 4] 次の記述ア～エのうち、知的障害者である児童・生徒の学習上の特性を踏まえた指導に関するものとして適切なものには○を、適切でないものには⊖をそれぞれマークせよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

- ア 自発的な活動を大切にし、主体的な活動を促すようにしながら、課題を解決しようとする思考力、判断力、表現力等を育むよう指導する。
- イ 一人一人の児童・生徒の知的障害の状態や経験、興味・関心などを踏まえるとともに、可能な限り実際の場面に即した状況で指導する。
- ウ 将来の社会参加と自立のため、補助具等の学習環境は、発達の段階よりも生活年齢に即して設定し、自力で取り組む力につながるよう指導する。
- エ 学校で学習した内容が、家庭生活を含む日常生活の様々な場面で、学習した内容の深化や、生活の向上につながるよう指導する。

[問 5] 病弱者である児童・生徒に対する指導に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 糖尿病の児童・生徒は、医療機関が主体となり、徹底した健康管理を行うため、学校では、児童・生徒が病状を気にしないように全ての活動に参加させる必要がある。
- 2 白血病の児童・生徒は、治療計画によっては、入院と退院を繰り返すことがあるので、退院時にはすぐに学校に登校し、指導が再開できるようにする必要がある。
- 3 心身症の児童・生徒は、心理的に緊張しやすく、不安になりやすい傾向があるが、病気の原因を把握しつつ、様々な集団に積極的に参加させる必要がある。
- 4 心臓疾患の児童・生徒は、運動制限の範囲を超えて身体を動かして、病状が悪化することがあるので、病状や体調に応じて生活を自己管理できるようにする必要がある。

31 (32採用) 【 特別支援学校 技術 】

問題番号		解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考
大問番号	小問番号						
1	1	1	1			4	
		2	2			4	
		3	3	2		4	
		4	4	3		4	
2	1	5	3			4	
		2	6	4		4	
		3	7	-		2	
			8	-		2	
			9	1		2	
3	1	10	4			3	
			11	2		3	
			12	1		3	
			13	3		3	
		2	14	-		2	
			15	1		2	
			16	-		2	
4	1	17	2			4	
		2	18	3		4	
		3	19	3		4	
I	1	20	3			3	
		2	21	3		3	
		3	22	3		3	
II	1	23	6			3	
		2	ア	24	-	1	
			イ	25	1	1	
			ウ	26	1	1	
			エ	27	1	1	
III	1	28	1			3	
		2	29	2		3	
		3	30	2		3	
IV	1	31	5			3	
		2	32	2		3	
		3	33	5		3	
		4	ア	34	1	1	
			イ	35	1	1	
			ウ	36	-	1	
			エ	37	1	1	
		5	38	4		2	